

4 学校評価 保護者 自由記述欄

教職員に対する温かい励ましのお言葉をたくさんいただきましてありがとうございました。
ご指摘をいただいた御意見等について内容を要約してお伝えします。

- ① 自由に使用できる場所（特別教室など）がもう少しあると良い。（1 学年）
- ② 読み書きなど学習内容に個々で差があると思うので、同じようなグループを作って学習するなど、個別に応じた学習をする時間があってもいいと感じます。（1 学年）
- ③ 参観日の際、子どもの居る教室で普段の学習の様子が見たいです。（2 学年）
- ④ 学校の敷地について。車で学校の門を通る時、地面に鉄でできた仕切り？の様なものが浮き出ているので、タイヤがパンクしそうで怖いです。補修されないのでしょうか。（2 学年）
- ⑤ クールダウンする教室が来年から確保できるのか心配です。（2 学年）
- ⑥ 教室と作業教室の数が足りないと思う。作業していた場所で給食を食べるという、札養時代と同じことをしているのでは、白桜を作った意味があるのか疑問に思う。車椅子の子が体育館へ移動する際、外に出て回り込むというのはどういうことなのか。この先車椅子の子の入学を暗に拒否するようにはなってほしくないが、現実的に考えているのだろうか、疑問に思う。2 階から 1 階への教室移動をスムーズにするための方法を考えなくてはいいけないと思う。直接教育委員会に言うことは難しいので、学校側から働きかけてはいただけないものか。（3 学年）

① 白陵高校と共用している教室はありますが、それぞれの学校の都合もあり自由に使うことは難しい状況です。使用教室については、今後も白陵高校と調整を行いながら有効活用に努めていきます。

② 毎朝15分間と、週 1 回の課題学習の時間の中で、学級単位で個々の学習課題に応じた学習に取り組んでおりますが、今後、より実態に合った形で学習を進める上で、学級単位ではなく学年単位でのグルーピングの可否についても検討したいと思います。生活単元学習やライフ＆ワークについては、これまでと同様に生徒の課題に合わせて学年内でグループを編成して学習に取り組めます。

③ 参観時期の学習内容により、体育館や作業室での参観となっております。ご指摘を踏まえ、次年度からは教室での授業参観ができるように調整いたします。

④ ご指摘の部分は排水溝として設置されたもので、地盤沈下や大型車の通行によって露出したのではないかとのことでした。現在、白陵高校と情報を共有しながら、段差の解消に向けて取り組むことを確認いたしました。雪が解けてからの対応になりますが、今しばらくお待ちいただければと思います。

⑤ 本校では「図書室」「教育相談室」「相談室」をクールダウンに使える部屋としておりますが、状況によってはその他の教室等を使ったり廊下に簡易テントを作る場合もあります。クールダウンに使える部屋を生徒にも伝え、安心して学校生活を送られるよう配慮していきます。

⑥ 教場（教室・作業室等）の数や広さについては、学校としても課題として認識しており、PTA役員の皆様とも連携して北海道教育委員会に改善を求めてきたところですが、北海道の財政、予算が厳しいという理由で、思うような改善に至っていないのが現状です。

一方で、粘り強い要望活動の甲斐あって、今年度は、屋外作業室として活用できるスーパーハウスを駐車場横に設置することができ、4月から活用する予定です。また、白陵高校1階の図書室であった教室（スペース）を本校に移管していただくことになり、4月から活用する予定です。

今後も引き続き車椅子使用者の動線の改善も含めた学習環境の改善に向けて、北海道教育委員会に対して粘り強く訴えていきたいと考えております。